

# 過去と現在の土砂災害を学ぶ

～放送大学兵庫学習センター 出前講座～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

災害問題に取り組んでおられる、放送大学兵庫学習センターの「地質と環境を語る会」のみなさんに、六甲山地の土砂災害と砂防事業の歴史についてより理解を深めていただくため、出前講座を行いました。

## 概要

日時：平成26年10月10日（金）  
14:00～15:30

場所：六甲砂防事務所

主催：放送大学兵庫学習センター

参加人数：約35名



## ○過去と現在の六甲山地の土砂災害について説明

多くの市民のみなさんに親しまれている六甲山地は、海から山頂までの距離が短く険しい地形で、また、風化によって崩れやすくなっている花こう岩で覆われた山です。そのため、古くから大雨などにより何度も土砂災害が発生してきたことや、大きな被害を出した阪神大水害（昭和13年）をきっかけとして、国による砂防事業が始まり、下流の市街地への被害を減らすために、多くの砂防えん堤を整備してきたことを説明しました。

また、今年の台風11号による山腹の崩壊では、砂防えん堤5基が下流への被害をくい止めたことを紹介すると共に、日頃からハザードマップを確認し、気象情報には注意していただくようお願いしました。



## 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課



〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL：078-851-0535